秋田県営手形山住宅

1973-75年に建設された団地の建替えである。高齢者等の入居を想定したエレベーター付の木造3階建て共同住宅と、若年ファミリー層の入居を想定した2階建て木造タウンハウスとの混合による計画とした。
積雪地であることから、計画地の南北を貫く歩行者通路には、地域の伝統的デザインである雁木（雪が積もらないよう庇を設けた通路）を計画し、屋根は落雪屋根とした。また寒冷な気候に配慮し、3階建て住棟は南側にサンルームを設け、共用廊下を屋内型とした。
外壁仕上げ材、床材、内壁仕上げ材等として、杉の地場産材を、積極的に活用している。
（（株）汎建築設計事務所とのJVプロジェクト）

所在地	秋田県秋田市
発注者	秋田県
敷地面積	25,039㎡
用途	県営住宅（150戸）
構造・規模	木造（在来軸組構法）・２階、（ＲＨ構法）・３階
延べ床面積	約1160㎡
竣工年	2003年

備考	2005年 全建賞、2007年 地域住宅計画賞奨励賞

©ICHIURA HOUSING & PLANNING